

2023 年 6 月 21 日
東海旅客鉄道労働組合政策部発行



JAPAN-RAILWAY-TOKAI-WORKERS-UNION



第6回 政策シンポジウムを開催！

～将来を見据えた働き方を参加者全員で考え、課題を共有！～

2023 年 4 月 17 日、男女共同参画センターあざれあ（静岡市）において、各地本・総支部の組合員、組合役員、約 300 名が集まり、J R 連合、J R 東海会社から来賓を招聘し、第 6 回政策シンポジウムを開催しました。

本政策シンポジウムは 3 部構成とし、第 1 部では、「ハートフルカンパニービジョン ⇒ 2027」で提言した労働諸条件等に関して中央本部から「『ハートフルカンパニービジョン ⇒ 2027』5 年目の検証活動」を提起し、大きな制度改正のみならず、組合員の声を基に、

身近な改善について数多くの成果を勝ち取ってきたことを参画者全員で共有しました。

第 2 部では、J R 東海ユニオンの運動に造詣が深い中央大学の鬼丸朋子教授から、「『汗』と『リターン』バランスについて考える～『がんばり』が報われるために～」と題した基調講演を賜りました。急激な社会変容を踏まえるとともに、これまでのユニオンの取り組みに評価をいただきつつ、取り組みが進んできたからこそ表出しつつある課題（がんばりが報われるための仕組み）について、示唆に富む助言をいただきました。第 3 部では、1 部・2 部を踏まえ、働き方・勤務の特殊性等に着目し直面する課題について、パネルディスカッションを実施しました。コーディネーターには鬼丸教授、パネリストには、仲田圭吾（技術開発部分会）さん、保科みずき（東京電気分会）さん、安藤亜衣梨（名古屋運輸区分会）さんに登壇いただくとともに、中央本部今井書記長も参画しました。

今もなお存在する少数派の働きにくさ、運輸系統の状況、育児休職・休暇、離職、要員、「リターン」の手段などについて抱える課題を全体で共有するとともに、将来を見据えた働き方、それに見合った制度について考察しました。

引き続き、ユニオン組合員・役員が一丸となって、提言型運動の強化を図ってまいります。



↑ 中央大学 鬼丸教授



↑ パネリストの皆様